

☆ 今週は風の子まつりの反省が沢山ありました



① 風の子まつりを無事終えてほっとした。内容は、はばたき学習の発表ということで、ゲーム性や体験などが余り無かったのでお客さんが少なく心配したが、子どもたちは自分が頑張ったことに十分手応えを感じていたようだった。

R子の感想では「動物や風などを表す手話があるなんて知らなかった。」と、言っていた子がいて、手話のことがわかってもらえて良かったと、書かれ

あった。こういった達成感が味わえたことだけでも良かった。



② 風の子まつりは無事に終わった。終了後子どもたちに聞いたところ、ほとんどの子が「すごく楽しかった」「達成感、満足感があった」と答えた。とてもいい顔でやりきったという感じが伝わってきた。

学年ではインフルエンザで全員参加できなかったため、もう一度時間を短縮して行いたいと思う。子どもたちの手で進められる風の子まつりは今後も継続させたい。総合は教科の発展の場として位置づければよいと思う。



△こんな反省もありました

① T君とH君が「縄跳び大会に向けて話し合わせてください」と言ってきた。

1時間男女とも跳ぶ順番をあれこれ一生懸命相談していた。…個性派揃いだが、リーダーが何とかみんなでやろうとする姿がとてもよかった。

② N先生が任期終了ということで、子どもたちに話すと「なんで～」といって、ショックを受けていました。A子ちゃんとの交流もあると思いますが、職員と同じように子どもたちも寂しいようです。…やはり、N先生の熱意や人柄が大人にも子どもにも伝わっているんだと思いました。自分もそんな先生でありたいと思います。

私の ささやかだけど 大きな希望 全員出席の日を 一日つくりたい